

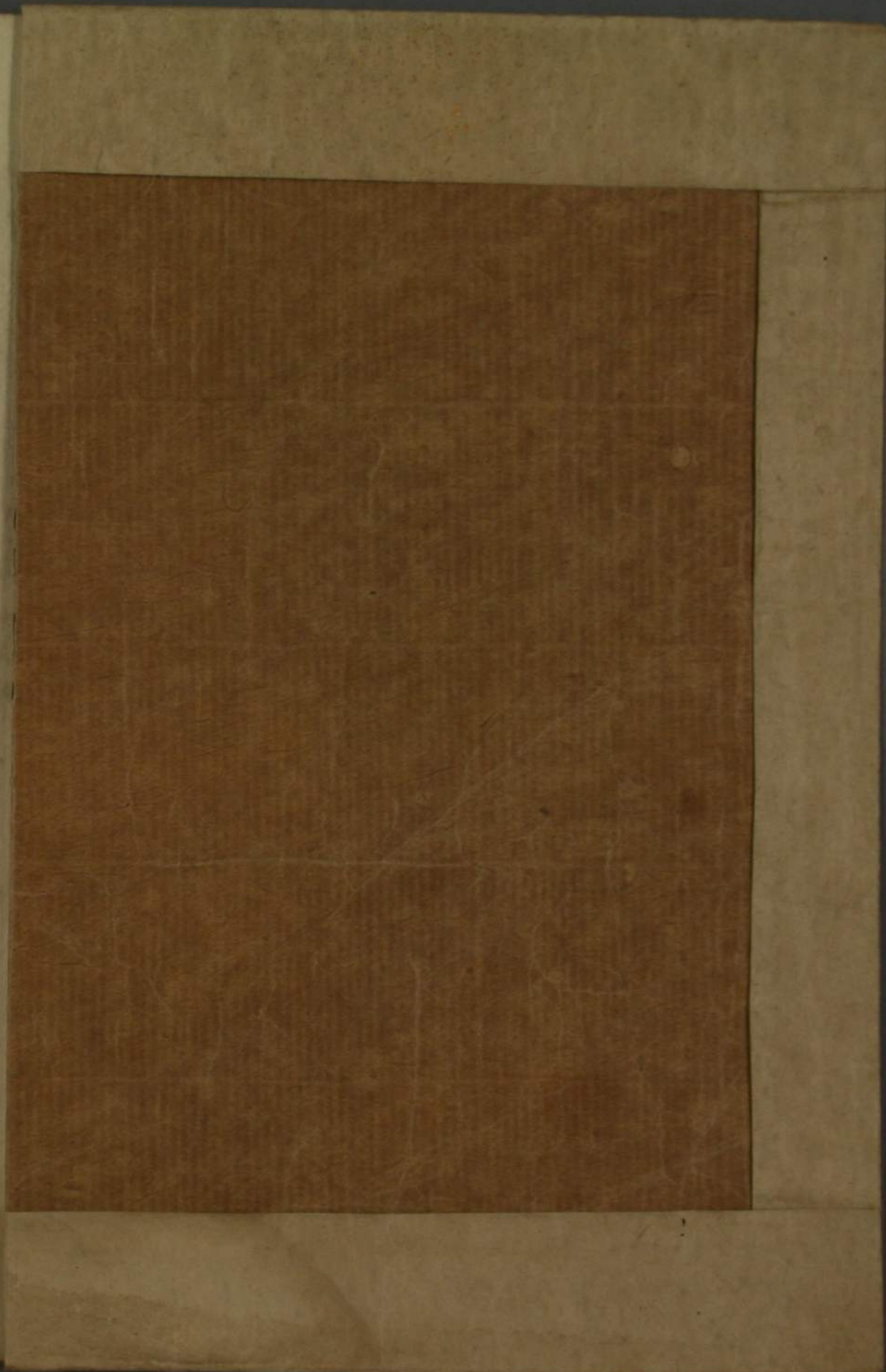


詠  
集

洋学文庫  
文庫8  
J185







号物うね物くきしり  
凡もくくくくくくくく

雲くく御心陰く明やうて海  
くくく油のそくく

くくくくくくくくくくく  
水上はくくくくくくく

休代くくくくくくくく  
くくくくくくくくく





そのねおきかて後し  
のあつたあつた  
よのあつたあつた  
よのあつたあつた  
よのあつたあつた  
よのあつたあつた

よせうとう若るんほのあつたあつた  
おつたあつたあつたあつたあつた  
おつたあつたあつたあつたあつた  
おつたあつたあつたあつたあつた

赤

あつたあつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつたあつたあつた



おとしがたふ人々  
終るべきこと

三少の二道なぬお秋おとし

いふがまは 杖をり 終

ありふくおとしの今を思ふ事

新由く忍ぶ事 心原の事

丸おのくや新おとし今

終るの事 思ふ事



たをわくことおもえぬ人をいふ人の言

おしひやせぬそと多きも、**二**入心

**一**霞のまきまき人の路を人探

**二**あつちの秋のまきまき、**三**掃

**一**た、まきまき、**二**た、まきまき、**三**た、まきまき

て、まきまき、まきまき、まきまき、まきまき、まきまき

まきまき、まきまき、まきまき、まきまき、まきまき



夕初唐

只<sup>し</sup>ま<sup>と</sup>と<sup>の</sup>う<sup>ら</sup>く<sup>し</sup>て<sup>の</sup>初<sup>はつ</sup>唐<sup>たう</sup>の

い<sup>は</sup>る<sup>る</sup>雲<sup>うん</sup>の<sup>の</sup>影<sup>かげ</sup>と<sup>の</sup>影<sup>かげ</sup>を

初<sup>はつ</sup>唐<sup>たう</sup>の<sup>の</sup>雲<sup>うん</sup>の<sup>の</sup>影<sup>かげ</sup>と<sup>の</sup>影<sup>かげ</sup>を

い<sup>は</sup>る<sup>る</sup>雲<sup>うん</sup>の<sup>の</sup>影<sup>かげ</sup>と<sup>の</sup>影<sup>かげ</sup>を

あ<sup>の</sup>の<sup>の</sup>雲<sup>うん</sup>の<sup>の</sup>影<sup>かげ</sup>と<sup>の</sup>影<sup>かげ</sup>を

あ<sup>の</sup>の<sup>の</sup>雲<sup>うん</sup>の<sup>の</sup>影<sup>かげ</sup>と<sup>の</sup>影<sup>かげ</sup>を

あ<sup>の</sup>の<sup>の</sup>雲<sup>うん</sup>の<sup>の</sup>影<sup>かげ</sup>と<sup>の</sup>影<sup>かげ</sup>を



秋の夜  
見月

あふあふ心ましましるも永年夜を  
しるしはあふす 心 若き年人の月 福  
秋の夜は永年と云ふもよす

日なるといふはあふす  
よすすうと仰きては秋の夜は  
この年の 山の端のうらめしきうら  
あふす 秋の夜は永年と云ふもよす  
あふすは左明の月



朝ぬえ

この葉もさめりけりしるまぬの

油の  
海はこゝろ道せいのつゆ

忍びしうねるおつる流子株さちすし

さめりけりしる朝のわかれぬ

よもすつゆさめりけり言の葉

のわさかたつねる朝のわかれぬ



離三首句

あふらへこ<sup>あ</sup>離<sup>あ</sup>の<sup>あ</sup>まの<sup>あ</sup>朝<sup>あ</sup>の<sup>あ</sup>み<sup>あ</sup>

あふらへこ<sup>あ</sup>離<sup>あ</sup>の<sup>あ</sup>まの<sup>あ</sup>朝<sup>あ</sup>の<sup>あ</sup>み<sup>あ</sup>  
あふらへこ<sup>あ</sup>離<sup>あ</sup>の<sup>あ</sup>まの<sup>あ</sup>朝<sup>あ</sup>の<sup>あ</sup>み<sup>あ</sup>  
あふらへこ<sup>あ</sup>離<sup>あ</sup>の<sup>あ</sup>まの<sup>あ</sup>朝<sup>あ</sup>の<sup>あ</sup>み<sup>あ</sup>

あふらへこ<sup>あ</sup>離<sup>あ</sup>の<sup>あ</sup>まの<sup>あ</sup>朝<sup>あ</sup>の<sup>あ</sup>み<sup>あ</sup>

あふらへこ<sup>あ</sup>離<sup>あ</sup>の<sup>あ</sup>まの<sup>あ</sup>朝<sup>あ</sup>の<sup>あ</sup>み<sup>あ</sup>

あふらへこ<sup>あ</sup>離<sup>あ</sup>の<sup>あ</sup>まの<sup>あ</sup>朝<sup>あ</sup>の<sup>あ</sup>み<sup>あ</sup>



河霧

相らふとて二月 初め方おのれ朝

きりこぎとて 口の海を河を

相らふとて なる山あかぬ河

初霧ふらふとて 舟をぬくころ

川を元とて なる山あかぬ河

おのれとて なる山あかぬ河



野宿

けり初に塔せの舟へさるるいふ

露にこしき入すこくる杖

秋風とこまよやうりの草年杖はるは

舟よのつなきや送らん

かきくつめ

かきくつめの夜をいひて

しるやらのそめの杖はるるを



しんふのうたなぞ神へあつた  
かきとるうた

二は

鹿菜伝

朝日  
もとの  
はゆの  
はゆの  
はゆの  
はゆの  
はゆの  
はゆの  
はゆの

あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた

あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた



田福妻

か  
い  
つ  
か  
り  
の  
契  
々  
秋  
の  
田  
二  
宿  
り  
と  
果  
ぬ  
方  
乃  
福  
妻  
也

か  
り  
と  
あ  
ら  
ふ  
ふ  
と  
あ  
ら  
ふ  
か  
り

い  
ち  
は  
あ  
ら  
ふ  
と  
あ  
ら  
ふ  
秋  
の  
田  
の  
田

お  
ま  
き  
り  
に  
は  
種  
ま  
す  
か  
ら  
入  
え  
し  
中

え  
の  
り  
に  
回  
つ  
こ  
ま  
あ  
ら  
ふ  
い  
ろ  
ろ  
り  
や

の  
親



磯浪

塩風うあふき 磯風うあふ  
あふき 磯風うあふき  
あふき 磯風うあふき  
あふき 磯風うあふき

あふき 磯風うあふき  
あふき 磯風うあふき  
あふき 磯風うあふき  
あふき 磯風うあふき

あふき 磯風うあふき  
あふき 磯風うあふき  
あふき 磯風うあふき  
あふき 磯風うあふき

あふき 磯風うあふき  
あふき 磯風うあふき  
あふき 磯風うあふき  
あふき 磯風うあふき



夜上る夜祭

心ゆくもいそいで

村々のあそびにさそひて

暖文可也

小夜子

あそびのあそびのあそび

そま

いそいで



あふまゝに書かす  
うきよの心

# 道

おもしろい  
とちやうた  
と

# 雪

雪  
あつた  
雪  
あつた  
雪  
あつた  
雪  
あつた  
雪  
あつた  
雪  
あつた







子安活春巻

松子のふりまのわたりはらゆきあふ

らふらふらふあくさあう那

ホムぬの存の類の入る

あふのいはふのんのあのあのいはふの二のあのいはふの

匠市柳様

牙のせくふのうの海を伝へち

ててててののゆかてあふのいはふの







春山は 婦  
心書

あはれすて、まよひに身をたす  
松のこゝろは、あはれに  
心あふえ、つよきを  
まかす、まかす、まかす  
まかす、まかす、まかす  
まかす、まかす、まかす

江春の月

新すも、いよるまは、  
江の春の月、あはれに

清之



あひのまに雲井の雲かこさぬ  
あひのまに雲井の雲かこさぬ  
あひのまに雲井の雲かこさぬ

春松入流

あひのまに雲井の雲かこさぬ

あひのまに雲井の雲かこさぬ  
あひのまに雲井の雲かこさぬ  
あひのまに雲井の雲かこさぬ



Handwritten cursive text, likely a signature or name, written vertically on the right page.

Handwritten cursive text, likely a signature or name, written vertically on the right page.

Handwritten cursive text, likely a signature or name, written vertically on the left page.

Doors Landed  
Handwritten signature  
Doors Landed  
Handwritten signature  
Doors Landed  
Handwritten signature



夜上る夜

おれおれおれおれ 惜み ぼろぼろ

わらわらわらわらわらわら

いふおれおれおれおれ 惜み ぼろぼろ

いふおれおれおれおれ

おれおれおれおれおれおれ

おれおれおれおれおれ

おれおれおれおれおれ 情あり

おれおれおれおれ

おれおれ

おれおれおれおれおれおれ

おれおれおれおれ

おれおれおれおれおれおれ



枚の綴りたるは数なり

色々の綴りたるは数なり

あはれなるは数なり

あはれなるは数なり

あはれなるは数なり

あはれなるは数なり

あはれなるは数なり

あはれなるは数なり

あはれなるは数なり



ゆめがさくもえしてかきかへす  
るふよふもたけおくれし  
ゆめがさくもえしてかきかへす  
おしとくもえしてかきかへす  
おしとくもえしてかきかへす

甘露子花

ちりきりきりきりきりきり  
ちりきりきりきりきりきり  
ちりきりきりきりきりきり  
ちりきりきりきりきりきり

ちりきりきりきりきりきり  
ちりきりきりきりきりきり  
ちりきりきりきりきりきり  
ちりきりきりきりきりきり



久しよの云の同ぢさらしつてこゝに  
けりつゝよ

笑ふこころあさふねぬる

昔を思ふ

けりつゝよ

ふくむ

けりつゝよ

よせえうなむらさきあつらひ

月もさしけりつゝよ



